

(リスクアセスメント) 薬剤積込み・薬剤散布 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和7年5月29日			ヘルメット、手袋、安全靴、安全チョッキ 保護メガネ、マスク	
改訂日					
作成者	野尻				
必要資格等	運転免許(大型・大型特殊)、職長教育講習、床上操作式クレーン、玉掛け技能講習			作業人員	3~5 名
備考	・車両管理システム(VIPS)を使用すること。使用しないときは確実に電源を切ること				その他

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後		参 考 図 (写 真 等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価	
準備工		作業前ミーティング										
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2	
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行い記録する	職長	1	1	1	
	3	服装、保安用具の点検をする	保護具未装着によるケガ	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1	
		機械・工具等の点検										
	4	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1	
	5	作業手順の確認をする	各自の作業が分かっていなくて、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2	
	6	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤの落下	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを行う	全員	1	2	2	
移動		現場への移動										
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	法定速度、十分な車間距離の確保	運転手、助手	1	2	2	
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1	
	3	ペア同士ルートの確認・連絡手段の確認	ルートが分からず不安全な運転をする	3	2	6	出発前に打合せ・確認をする	全員	1	2	2	
	4	料金所レーン停車時	開閉バー、構造物と接触する	2	2	4	開閉バーが見える位置で停車し、精算機に手が届かない場合は運転手が降車して精算処理を行う。 (ドアの開閉の際に機器にぶつけないように注意すること、乗降りは落下に注意し三点支持で行うこと、サイドブレーキを確実にかけること)	全員	1	1	1	助手が料金所に事前に連絡し、バーを開けてもらうことも可とする。 ただし、必ず通行券の取得と精算行為を行うこと。
本作業		・固形剤積込み										
	1	剤倉庫に雪氷車両を入れる	構造物や車両等につぶかる。	2	2	4	助手、作業員は誘導する場所に障害物等がないか確認する。オーバースライド扉が構造物と同じ高さまで上がっていることを確認する。	全員	1	2	2	
				2	2	4	助手、作業員は運転手と誘導時の合図の確認を行い、運転手から見える位置で誘導する。運転手は誘導員(助手、作業員)が見えない時はバックしない。	全員	1	2	2	
	2	積込み作業	剤吊り上げ時、負傷する。	2	3	6	フックの確認・運転者は作業員が3m以上離れからクレーン操作を行う	全員	1	1	1	
			体の一部または体が押しつぶされる。	2	3	6	吊荷の下に入らない・作業しない。ユニック及び天井クレーン使用中は作業範囲に入らない。運転者の視界に常に入ら位置で、誘導及び作業を行う。	全員	1	1	1	
		・薬液積込み作業						全員	1	1	1	
	3	積込み作業	ポンプ圧送時に怪我をする。	2	2	4	積込ホースの留め具ロックの確認を徹底する。ホースを外す際は、ドレンコックを開き、ホース残量液を概ね抜いてから外す。					
			積込ポンプの空回しにより焼付きを起こす。				積込ポンプが陸上ポンプの基地は呼び水の水位が下がると吸出しが出来ず、空回し状態となる為、スイッチONから5分を目途に積込みが開始されない時は呼び水を追加し、再度試みる。空運転で5分以上は回さない。					
			ポンプ圧送時に車両側・圧送側のノズルの破損	2	2	4	ポンプ作動スイッチをONにする前に、バルブの方向確認をする。	全員	1	2	2	
		・固形剤散布										
	4	剤を路面に均一に散布する。	均一に撒くことが出来ない	2	2	4	長期放置しない。湿らせない。	全員	2	1	2	
							出発前に室内散布装置の設定を確認する。	全員	2	1	2	
							基地に帰着後、ホッパー内、コンベアー、プロペラ周辺の塩の残り具合を確認し、必要な時は掃くなどのドライ清掃をする。	全員	2	1	2	
			剤が風に舞い、所定の効果を得ることが出来ない。	3	1	3	散布状況を本部連絡員に報告し、指示を仰ぐ	全員	1	1	1	
		・溶液散布										
	5	剤を路面に均一に散布する。	均一に撒くことが出来ない	2	2	4	出発前に室内散布装置の設定を確認する。	作業員	2	1	2	
							右側散布、粉碎塩となっているか。	全員	2	1	2	
							散布作業中に塩を使い切る恐れがある際は反転場所基地等での追加積込などを検討し、本部に指示を仰ぐ。それでも未散布箇所が発生した際は帰着後、本部に報告し、次の指示を待つ。	全員	2	1	2	
							基地に帰着後、散布ノズルの清掃を行う。	作業員	2	1	2	
片付け		片付け										
	1	車両の点検・日報記入	次回使用時に故障で使用できない	2	2	4	故障、異常は速やかに本部へ報告・修理依頼	運転手・助手	1	1	1	
	2	洗車	車両から落下	2	3	6	シャワー洗車装置を使用	運転手・助手	1	1	1	